

# 行政視察報告書

総務委員会行政視察

平成 30 年 8 月 1 日（水）～3 日（金）

視察先  
及び  
視察事項

・平成 30 年 8 月 1 日（水）

福岡県北九州市

1、スタジアム整備事業について

(1) スタジアム整備の経緯、施設概要

(2) PFI 事業によるスタジアム整備

ア、PFI 等の事業方法の検討について

イ、同時業に係る特定事業の選定に当た  
る客観的評価について

ウ、PFI 事業による整備後の市全体への  
効果と課題について

・平成 30 年 8 月 2 日（木）

鹿児島県鹿児島市

1、鹿児島市・松本市文化・観光交流協定  
について

(1) 職員交流事業

(2) 観光未来戦略（都市間交流を中心に）

2、世界文化遺産登録について

(1) ユネスコ世界遺産委員会への対応

(2) 市民との協働行動計画の推進

(3) 受け入れ体制の整備

## 福岡県北九州市

### 1、スタジアム整備事業

(1) 整備の経緯、施設の概要                      市民からの反対の声もあったが市長公約からスタート。

関係団体の要望と市スポーツ振興協議会の提言を受け基本方針を策定。スタジアムは新幹線

小倉駅から徒歩 7 分で、収容 1 万 5 千人（将来的には 2 万人以上に拡張可能）。PFI 事業費

約 115 億円で管理運営は 15 年間で契約。                      平成 27 年着工～29 年完成

(2) 事業の手法                      ……PFI 事業の採用

（採用理由）①経済性—— 設計建設一括発注によるスケールメリットから建設費の削減を期待。

②まちづくり—— 周辺施設との連携において民間のノウハウを有効活用。

③自主事業への期待

※ PFI 事業者は 5 社による（株）ウインドシップ北九州となっている。

(3) 財源・管理運営コスト

◇ 市の負担額                      設計・建設費約 99 億円－TOTO くじ助成金 30 億円＝約 69 億円

◇ 年間支出・収入見込み『支出予測』年間 1、5 億円、『収入予測』年間 0、5 億円

### 2、質 疑

(1) PFI 事業 (PTO 方式) については各担当部局が行うのか。…… 所管課が担当
(2) 利用日数の上限は …… 100 日程度で日曜日が大半 (条例制定はしていない)
(3) スポーツ以外の利用について ◇都心集客アクションプランとして「スポーツ以外でにぎわいのまち」を目指す。 《 目 標 》新幹線口エリア集客 300 万人を目指す 方向性 1 多彩なイベント誘致・開催をし、人がさらに集まる仕掛け 方向性 2 滞在時間を延ばす仕掛け 方向性 3 にぎわいを生むためのもう一つの視点 リベーションによる新しい魅力づくり。働く・学ぶ・暮らす空間の創出
(4) スタジアムの使用申し込みについて フィールド及びスタンド、スタジアム内の会議室等……大きな大会は前年度、一般は 6 ヶ月前から予約可、会議室は 2 ヶ月前
<b>3、所 見</b>
(1) 北九州スタジアムは新幹線小倉駅から徒歩 7 分と集客の条件は素晴らしい。
(2) 立地条件は素晴らしいがスタジアムの芝は傷みが多く、今後の芝管理は大変だ。 この状態ではプロサッカー試合を招致する球場としては如何なものか。
(3) 当該施設は「エコ・スタジアム」で資源再利用、省エネルギー、少資源対応でメインスタンドの屋根に 50KW の太陽光発電設備を整えると共に、雨水の便器洗浄水使用等による省エネ・省資源化が目につく。参考となる湖とが多い。
<b>鹿児島県鹿児島市</b>
<b>1、松本市との人事交流</b> 城下町として歴史と恵まれた自然環境を有する鹿児島市と松本市が、平成 24 年 9 月 16 日、文化・観光交流協定を締結したことを契機に、更なる交流と相互理解を深めるため、同市職員を派遣する事とした。
(1) 歴代派遣者 鹿児島から松本市へ 4 名。派遣側からの希望で配属先を決めている。 健康福祉部・商工観光部企業立地課へ ……健康に関する市民の関心度が高いことを実感
(2) 松本市から鹿児島市への派遣は 3 名。 文化振興課、環境保全課、広報課へ …… 観光イベント等を担当
<b>2、質 疑</b>
(1) 人事交流の派遣についてはどのように選考しているか。……指名から公募に切り替えた。 家族も一緒に認めているが難しく独身が多い。 派遣は 1 年が 2 年を選択させる。 《 派遣者の声 》松本市の魅力は何か。 夏場の松本は素晴らしい
<b>3、観光未来戦略について</b>
(概要) 基本目標は「人が行き交う魅力とにぎあうまち」 にぎわい交流政策の実現。
(1) 観光における経済効果
(2) 人口減少を背景とする交流人口拡大
(3) 本市の観光の優位性 …… 観光資源生かし地域経済に寄与
◇ 観光戦略の取り組み評価 九州新幹線全線開業効果を維持できた。
◇ 観光に関する課題 ①国内市場縮小の中での観光産業の振興……観光消費額を増やす仕掛け

② 急増する外国人観光客への対応

② 急増する外国人観光客への対応

③ 広域的視点による取り組み……広域連携を戦略的に進める。広域観光ルートの創出

◇ 鹿児島県の経済成長のエンジンとなる稼ぐ観光の実現

① 稼ぐ観光の考え方……鹿児島の観光への期待と訪れてからの感動が必要。

② 稼ぐ観光の実現は、観光消費額、客数の増加、消費単価の増加（質の高いサービス）

◇ 重点施策 「新しい魅力づくり」世界から選ばれる鹿児島を目指して ——

① 世界に誇れる自然と景観のブランド化

② ストーリー性のアル歴史と文化の魅力の深掘り

③ 観光資源・イベントの充実による年間を通じた集客力の向上

④ 多様なニューリズムの推進と MICEk 誘致強化

#### 4、世界文化遺産登録について

鹿児島市の世界文化遺産「日本の産業革命遺産」の取り組みは、平成 17 年から開始 10 年を経て平成 27 年度イコモスによる勧告。ユネスコ世界遺産委員会において登録決定。

《 世界遺産登録までの経過 》

平成 25 年度 世界遺産登録推進協議会における推薦書原案作成に向けた協議・調整

平成 26 年度 イコモス審査、現地調査への対応

平成 27 年度 イコモス勧告ユネスコ世界遺産委員会への対応・

平成 28 年度 協議会名称を『「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会』へ変更

平成 29 年度 世界遺産委員会決定事項への対応及び情報発信・理解増進、受入環境の整備  
磯地区への新駅設置の検討・調査

◇ 世界遺産登録に当たってユネスコへ提出した推薦書一式

推薦書本体（管理保全計画）23 の構成資産が統一的なルールに基づき管理保全できるよう  
保全の一般方針及び管理のための枠組みについて記載したもので、合計 3、000 ページの  
英文の資料を平成 26 年 1 月日本国政府からユネスコへ提出。

《 所 見 》

1、職員交流事業 交流事業は政策形成能力の向上など人材育成を図ることを目的として  
いる。派遣先での研修の成果は大きいですが、派遣職員の選考に難しさが  
あるようだ。

2、観光未来戦略 九州新幹線全線開業により、鹿児島市の観光による経済効果は大きい。  
世界に誇れる自然と景観を活用した「稼ぐ観光」に取り組む考えには学ぶ  
ところが多い。松本市の観光を発展させるには、まず高速交通網整備が  
急務ではないか。

3、世界遺産登録 世界遺産登録までには予想される幾多の課題に取り組み、10年の歳月を  
要している。登録に必要な専門的な調査を行なうためには、専門家委員  
会設置についても学ぶところが多い。

平成 30 年 8 月 22 日

松本市議会議長 上 條 俊 道 様

総務委員会委員 宮 坂 郁 生

